

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

後期高齢者医療制度 廃止は国民多数の声!



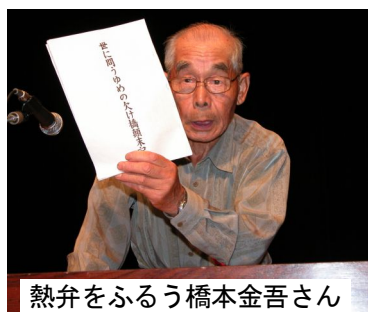
300人が参加した日本共産党演説会

塩川議員の訴えに共感が

7月11日飯能市民会館で開催された日本共産党演説会には、会場いっぱい300人が参加しました。塩川てつや衆院議員、桜井はる子衆院比例候補が講演し、地元の橋本金吾、杉田実両氏が応援の訴えを行いました。

国民、高齢者は納得しない。日本共産党は法案提出時から一貫して反対した唯一の党。国民世論に押されて政府与党は、野党提出の後期高齢者医療制度廃止法案を廃案にできず、次期国会までの継続審議扱いとした。ぜひとも国民世論の力で、自公に迫り、何としても成立させよう」と訴えました。

塩川てつや衆議院議員は、「いま後期高齢者医療制度廃止は国民多数の声となっている。怒りの大本は、高齢者への差別医療の導入にある。与党の見直し案は、厚労省内の仕組みを少しいじるだけ。差別医療制度の根幹を変えないままでは、



熱弁をふるう橋本金吾さん

応援の訴え

社会保障を口実に また消費税増税

塩川議員は、「政府与党は、社会保障切り捨ての政治に対する国民の怒りの前に、社会保障財源として、消費税増税を口にして、枘添厚労相は『社会保障はこれ以上削れない。だから消費税引上げの検討を』と言いだした。消費税導入後、国民が納めた消費税総額は188兆円にのぼる。その一方、大企業などへの法人三税の減税総額は160兆円。庶民の納めた消費税は、大企業減税の穴埋めに使われてきたのが実態だ。『福祉』『社会保障』を口実に、消費税増税を押し付けるのは許せない。消費税増税によらずとも、社会保

賞味期限切れの自 民党には変わって もらおう!

落合在住の橋本金吾さんは、「加治橋架け替え問題で共産党と出合い、お世話になった。お年寄りいじめの政治を進める賞味期限切れの団体(自民党)には政治の舞台から去っていただき、日本

参加して良かった 参加者の声

初めて参加した方に感想をお聞きしました。「勉強させてもらった。また次も声をかけてください」、「地元の方の話(加治橋架け替え工事で



地域住民と共産党議員との改善運動)が味があったり良かった。「市立病院を守る運動でも共産党の議員がいてくれるからこそ、飯能市民全体の問題にまで発展させることができた」。「塩川衆議院議員の話は分かりやすかった」。「国会で不安定な派遣労働を無くす、すごい活動をしてきたのだから、もっと詳しく聞きたかった」。「会場いっぱいだった」。「会場いっぱいだったね」など、たくさん感想が寄せられました。

障財源を確保できる。税金のむだづかいをただすこと。米軍基地強化のために3兆円も日本国民の税金を投入しようとしている。外国領土に米軍基地をつくるのに、なぜ日本国民が税金の負担をし共産党に頑張ってもらいたい」とメールを送りました。

文化欄

- 油高勝島国の夏魚遠く
- 夕焼小焼途切れとぎれに虎が雨

佐藤志づえ
配達の朝に聞き入るせみしぐれ
本郷笑子

波 紋

前回「不滅という言葉がぴったりの最後の一歩が落ちてしまいましたが、これがないとなんで「巨人軍は永久に不滅です」という長島さんの言葉が出てくるのか意味不明になってしまっているので、読んでくださっている方がいたらよろしくお願いたします▼15日は日本共産党創立86周年の記念日でした。市民アンケートにも「党名を変えたらもっと支持が増えるのでは」というご意見がありました。そこで多喜二の続きです。多喜二は不屈の闘士であつただけでなく、家族思いのやさしい人柄でした。原稿料が手に入ると「暑い盛りをよく我慢して暮らした君のお母さんを一日涼しいところで遊ばせるために使ってください」と弟の三吾に書き送っています▼多喜二だけではありません。党史には少なからぬ女性党员が、「党の若い時期に、自分自身も24、25歳という若さで、身をていして共産主義運動のなかではたらいいたことは日本共産党の誇りです」と書かれています。党名には社会進歩の運動に命をささげた人々の思いがいっぱいこめられています。

市民アンケートに思い、要求がびっしり

743通が寄せられました ご協力ありがとうございました

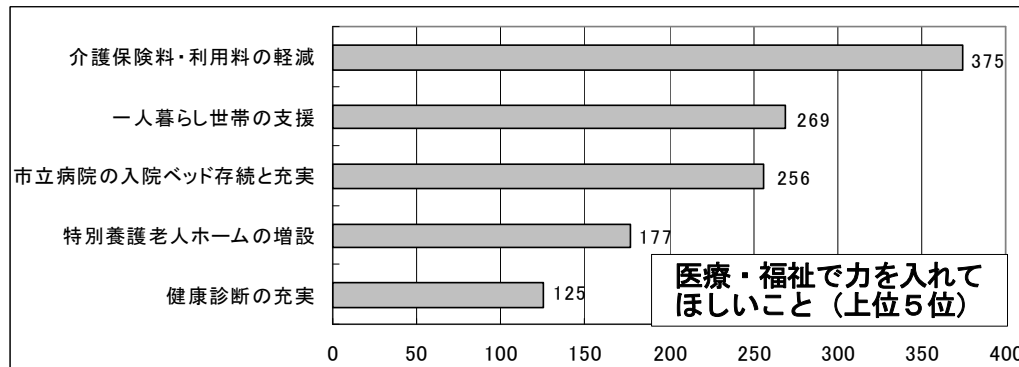
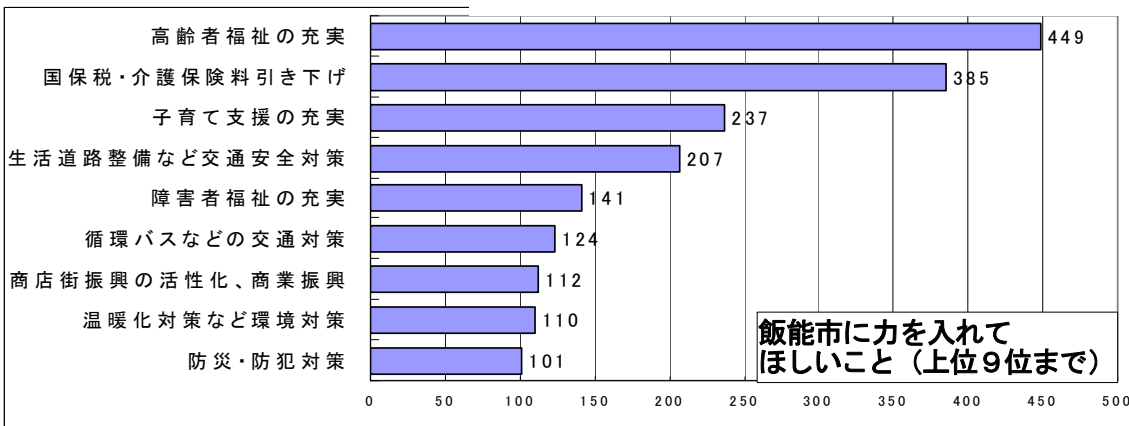
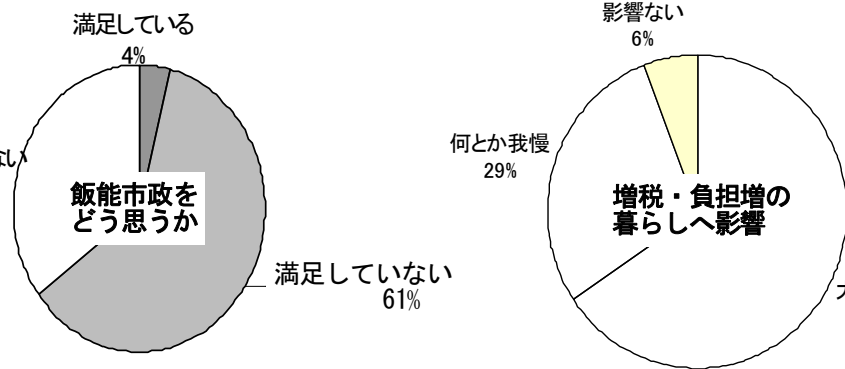
この間、日本共産党飯能市委員会が行った市民要求アンケートは、全戸にお届けして郵送で返信していただきました。7月10日現在743通の回答がありました。ご協力いただき、ありがとうございます。

アンケート結果の概要について、2回に渡ってお知らせします。

増税と負担増で生活は苦しい

まずこの間、定率減税の廃止や国保税増税など増税や負担増がどのように影響し

ているか聞いたところ、大変苦しくなったと答えた人が、65%にも及び、何とか我慢できる29%、それほど影響はない6%を大きく上回っています。



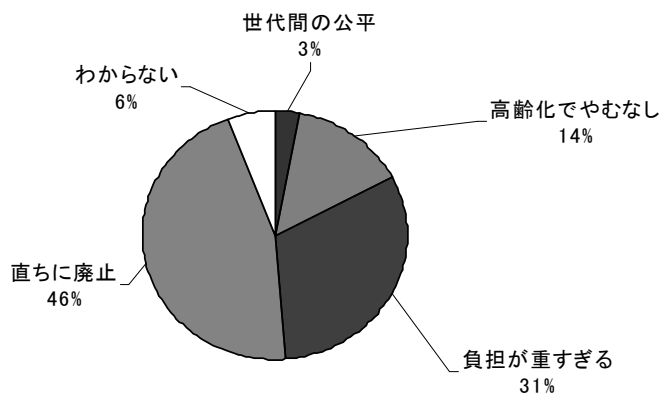
飯能市政については、満足しているが4%に対して、満足していないが61%にも及び、生活道路・歩道整備がされていないこと、子育て支援が不十分なこと、特に他市から



転入した若い世代の不満が大きいことが明らかにになりました。

高齢者福祉の充実を

飯能市に何を入れているかでは、高齢者福祉を望む声は61%、続いて国保税・介護保険料の引き下げが53%にのびりました。高齢者福祉のうち、介護保険料・利用料の軽減が51%あったほか、一人暮らし世帯の支援を望む声は37%と2番目に高かったことは今後の施策をすすめる上で注目されます。



後期高齢者医療制度は直ちに廃止を

4月から始まった後期高

子どもの医療費対象年齢拡大を

子育て支援では、子どもの医療費無料化年齢の拡大を求める声が圧倒的で50%、続いて産科・小児科の増設などを求める声は36%、教育費負担の軽減が34%と続いています。

